

旧土地開発公社土地の処分活用状況を公表します

◎問い合わせ
本庁財産運用課販売推進係
(内線 127)

土地開発公社の解散により取得した土地の平成 29 年度の処分状況や、公社解散のため借り入れた「第三セクター等改革推進債(三セク債)」の状況などについてお知らせします。

29 年度の処分、予算の執行状況

住宅用分譲地は目標 16 件に対して 37 件(2 億 6,041 万円)、分譲地以外では工業団地 1 件(1 億 288 万円)を売却しました。

土地は、活用する方針のものと売却処分する方針のものがあります。売却処分する方針の土地は、残りが 222 筆、12 万 3,232 ㎡です。

旧公社土地に関連する歳入は、売却収入、貸付収入、減債基金利子の合計で 3 億 8,281 万円となりました。歳出のうち、広告などの販売に係る経費や除草などの維持管理経費、土地売却代金の減債基金への繰り出しの合計は 3 億 7,358 万円となりました。

減債基金、三セク債の状況

売却収入を積み立てた結果、減債基金の残高は、10 億 6,810 万円となりました。三セク債は、約定に基づき元金と利子の合計 4 億 4,864 万円を返済しました。なお、26 年度には、減債基金を取り崩して 10 億円を繰り上げて返済しています。これらにより、29 年度末の借入残高は、52 億 7,850 万円です。

■旧土地開発公社土地に関連する 29 年度予算執行状況 (30 年 3 月末現在)

項目		執行額(千円)	
歳入	土地貸付収入	17,928	
	土地売却収入	分譲地	260,406
		その他土地	102,875
	減債基金利子	1,597	
合計		382,806	
歳出	維持管理費、広告料など	8,699	
	減債基金積立金	364,878	
	三セク債償還	448,636	
合計		822,213	

■減債基金の状況 (単位:千円)

区分	前年度まで	29 年度	累計
積立額	1,700,443	363,281	2,063,724
利子額	2,775	1,597	4,372
繰り上げ償還	△1,000,000	0	△1,000,000
合計	703,218	364,878	1,068,096

■三セク債借入残高(29 年度末) (単位:千円)

区分	当初起債額	償還済額	残高
元金	8,660,000	3,381,500	5,278,500

サマージャンボ宝くじ発売中です

◎問い合わせ
(公財) 県市町村振興協会
(☎ 019-651-3461)

宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。宝くじ売り場のほか、新たに特設売り場として市内の 4 施設でもお買い求めいただけます。

■発売期間 8 月 3 日(金)まで

■特設売り場

- 市役所本庁職員組合売店(水沢大手町1-1)
- みずさわ観光物産センター(水沢西町1-1)
- 歴史公園えさし藤原の郷(江刺岩谷堂字小名丸86-1)
- 国民宿舎サンホテル衣川荘(衣川日向60-2)

■抽せん日 8 月 14 日(日)

■賞金

- サマージャンボ 1 等 5 億円・前後賞各 1 億円ほか
- サマージャンボミニ 1 等 5 千万円・前後賞各 1 千万円ほか



みずさわ観光物産センター内の特設売り場

市では、宝くじの収益金から配分される助成金を地域経済の活性化に役立つ事業(商工業および観光物産の振興など)に充てて活用しています。

<参考> 29 年度の助成金交付額 22,635 千円

奥州いさわカヌー競技場でカヌー・ジャパンカップが開催されます

◎問い合わせ
カヌー・ジャパンカップ奥州市実行委員会(本庁元気戦略室内・内線 464)

国内屈指と言われるコースで、国内トップレベルの選手が繰り広げる白熱のレースをご覧ください。地域おこし協力隊の藤野浩太隊員も出場します。また、今回は東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会 PR ブースも設置されます。入場無料、雨天決行です。

7 月 28 日(土) カヌー・ワイルドウォーター スプリント

- 13:00 開会式
- 14:15 デモンストレーション
※テスト漕者による実演。選手や審判が岸からコースを確認します
- 14:45 1 次予選(1 分間隔)
- 15:30 2 次予選(1 分間隔)
- 16:15 決勝
- 18:00 表彰式



Point 激流を下りタイムを競う種目です。障害物となる岩や流れを読む力が求められます。

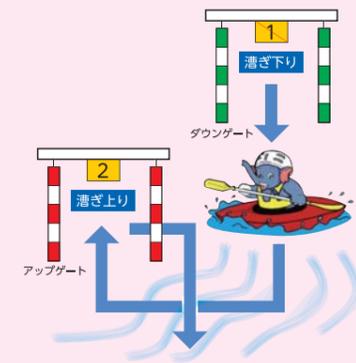


7 月 29 日(日) カヌー・スラローム

- 9:00 デモンストレーション
- 9:30 フォアラン
※テスト漕者が一気にコースを漕ぎ下ります
- 9:50 1 次予選(45 秒間隔)
- 11:50 2 次予選(45 秒間隔)
- 13:30 決勝(1 分間隔)
- 14:30 クリーンリバー活動
- 15:00 表彰式・閉会式



Point 川の上からつるされた 2 本のポールの間を、決められた順番と方法で通過する種目です。緑白ポールは上流から下流へ漕ぎ下り、赤白ポールは下流から上流へ漕ぎ上がるルールです。順位はタイム(1 秒=1 点のポイント換算)と、各ゲート通過時の罰点(ゲートに触れると 2 点、不通過の場合は 50 点)を足して、点数の少ない方が上位になります。



市民提案型協働支援事業(第 2 回審査分) 補助金認定事業を公表します

◎問い合わせ
本庁地域づくり推進課市民活動係
(江刺総合支所・内線 321)

平成 30 年度の第 2 回審査分には、5 団体から事業提案がありました。「協働の提案テーブル」で話し合いを行い、その後、市民公益活動団体支援事業審査会にて、ヒアリングによる事業審査の結果、次の 5 事業を認定しました。

■ 30 年度市民提案型協働支援事業補助金(第 2 回審査分) 認定事業一覧

団体名	事業名	総事業費(円)	補助金額(円)
特定非営利活動法人 シェイクス	奥州キッズドリーム創造プログラム	650,000	300,000
斎藤實顕彰会	斎藤實生誕 160 年記念事業	425,000	300,000
葦名堰史跡保存会	葦名堰(二の台堰)継承事業	437,387	300,000
特定非営利活動法人 こぼ	地域啓発理解促進プログラム	685,202	300,000
アテルイ歴史の里振興会	「アテルイの里・奥州」アテルイ顕彰事業	915,000	300,000

※補助金コースは全てステップアップコース

● 第 3 回審査分提案事業の募集

- ▶ 受付期限 8 月 10 日(金) ▶ 申込先 問い合わせ先または市民活動支援センター(メイプル地下 ☎ 4200)